

⑩日本特許庁 (JP) ⑪実用新案出願公告

⑫実用新案公報 (Y2) 昭54-21859

⑬Int. Cl.³
E 04 F 13 / 14識別記号 ⑭日本分類
86(6)B 323⑮内整理番号 ⑯公告 昭和54年(1979)8月2日
6828-2E

(全2頁)

1

2

⑭石膏ボードの連接構造

⑪実願 昭48-34801
 ⑫出願 昭48(1973)3月22日
 公開 昭49-136015
 ⑬昭49(1974)11月22日
 ⑭考案者 望月明
 清水市上清水町11の21
 ⑮出願人 野田合板株式会社
 東京都中央区日本橋本町3の1
 ⑯代理人 弁理士 羽生栄吉
 ⑰引用文献
 実開 昭49-12729

⑭実用新案登録請求の範囲

木口面の切欠き4と該切欠き4に平行する凹状溝5とを有する石膏の芯層1が、ボード用厚紙2、3で芯層1の形に沿つて被覆された石膏ボード単位体を連接した構造であり、

隣接する石膏ボード単位体の木口面の切欠き4が互いにつながつて形成される一つの凹状溝a前記凹状溝5が平坦面となるように被覆されている、ことを特徴とする石膏ボードの連接構造。

考案の詳細な説明

本考案は天井板、壁板などに用いる石膏ボードの連接構造に関するもので、その目的とするところは、施工状態がよくて継目が目立たない、立体的な表面を有する石膏ボードを構成する点に存する。

従来この種石膏ボードは第1図のように表裏に30ボード原紙2'、3'を、芯に石膏1'をサンドイッチした平面板である。しかし石膏1'は脆いため、固定釘などを打つために前記ボード表面にV溝4'が切削形成すると、ボード原紙2'が除去されてしまうので折れ易くなる。

また切削した端部よりボード原紙2'が剥離して芯の石膏1'が崩れ、ボードが破損する欠点が

あつた。

またこのような石膏ボードを平板のまま用いるとその継目にバテ5'を塗る必要があるため、厚さむらが生じ継目が目立ち、見苦しかつた。また5第3図のように、木口をテーパー状にしたものも用いられているが、施工後バテ6'などで継目を隠すことが必要である。しかしこのようなものは工程が複雑で施工時間が長くなる欠点がある。(またテーパー状部ではバテなどの厚さむらが目立ち易い。)

本考案は以上のような従来技術の改良を企図したもので、その構成の要旨とするところは、木口面の切欠き4と、該切欠き4に平行する凹状溝5とを有する石膏の芯層1がボード用厚紙2、3で15芯層1の形に沿つて被覆された石膏ボード単位体を連接した構造であり、隣接する石膏ボード単位体の木口面の切欠き4が互いにつながつて形成される一つの凹状溝a前記凹状溝5が平坦面となるようになされている、石膏ボードの連接構造に存するものである。

以下その詳細について説明する。
 ⑭芯層1の石膏、およびボード原紙2、3は従来のものをそのまま用いればよい。

石膏層1とボード原紙2、3との接着は従来の25ように石膏スラリーが硬化する際に接着するもので接着剤を用いず、従来と変りない。

芯層1の形状は両木口部に切欠き4を有する。
 そして切欠き4は左右対称で接合時両者の切欠き4で1つの凹状溝aが形成される。

溝aの断面形状は第5図イ、ロのように随時選択することができるが、目地板7が嵌合できる形状であることが望ましい。

さらに切欠き4、4の間にこれらと平行して凹状溝5を凹設する。凹状溝5は石膏ボードの意匠性の向上と、凹状溝5から釘打してボードの下地材への密着性を強化するためである。切欠き4、4の深さ、巾は意匠的効果を考慮して、物理的強

3

4

度を低下することにより使用上問題が生じない範囲で決定される。

④ボード用原紙2、3を芯層1の形状に沿つて全表面に接着する方法は従来の方法でよい。たとえば表面ボード用原紙2を折曲した中に石膏スラリーを注入した後、裏面ボード用原紙3を表面原紙2の上に貼着して、圧延ロールで成形すればよい。

⑤施工のとき凹状溝a、5があつても、両面にボード原紙2、3が切目なく全表面に接着されているため、釘打ちのとき折れや原紙の剥離を起さない。

⑥凹状溝a、5があつても、両面にボード原紙2、3が切目なく全表面に接着されているため、釘打ちのとき折れや原紙の剥離を起さない。

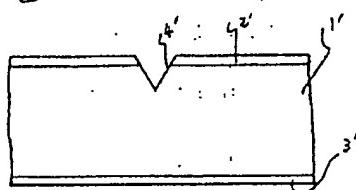
⑦釘着の際凹状溝a、5から釘を打ち込むので、打込み距離lがボードの厚さtより小さいので打込抵抗が少なく、脆い石膏の打込みのときの破壊が少なくてすむ。

図面の簡単な説明

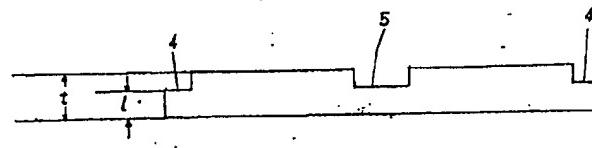
第1図、第2図、第3図は従来のボードの正面図、第4図、第5図は本考案のボードの正断面図、第6図は目地板を接合部に嵌合した場合の正面図である。

1：石膏の芯層、2、3：ボード原紙、4：切欠き、5：凹状溝、a：凹状溝。

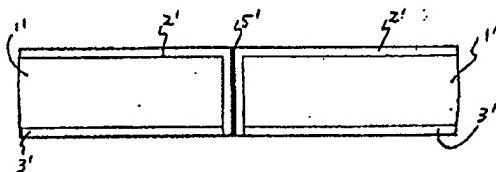
第1図



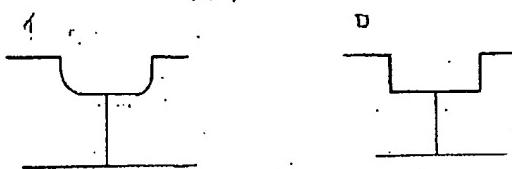
第4図



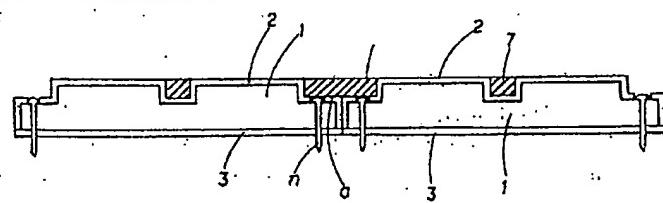
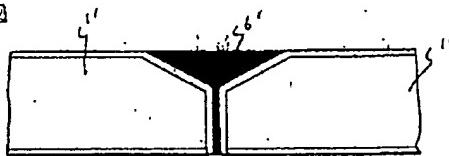
第2図



第5図



第3図



第6図

Citation 8

Publication number: 54-21859

Date of Publication: 08.02.1979

Application number: 48-34801

Date of Filing: 03.22.1973

Applicant: Noda Gohan K.K.

Title of the Device: Connecting structure for a plasterboard

Abstract:

1) Purpose: To provide a plasterboard which has a good construction state, have joints hard to spot, and has a steric surface.

2) Constitution:

Core layers 1 of a plasterboard having cutout 4 and concave groove 5 which is parallel to cutout 4, are connected each other by being covered with pasteboards 2 and 3 such that concave groove a which is formed by connecting cutouts 4 one another is flush with concave groove 5.